

別紙1

大雪山国立公園 歩道維持管理作業 実施計画書

2019年6月5日版 バージョン 1

No. 1

計画者	NPO法人大雪山自然学校 旭岳自然保護監視員		<input type="checkbox"/> 計画箇所について、計画者と事業執行者が同一である場合はチェック	
担当者	氏名	藤 このみ	電子メール	<a href="mailto:fuji@daisetsu.or.jp">fuji@daisetsu.or.jp</a>
			電話番号	0166-82-6500
対象箇所	姿見の池園地 第一展望台と第三展望台の間			
作業の目的	対象箇所付近は比較的傾斜の緩やかな場所であるが、豪雨時には流水による洗堀が見られる。周辺では2016年から床止工を行っているが、下流の階段では水勢が増し、土砂が路外に跳ね出されて植生上に堆積することがある。付近の分散排水工(2017年施工)で排出された水が再び散策路に流入する箇所でもあり、水量が多いため、新たな洗堀の防止と植生の保全のために分散排水工で水量を減らすことを目的とする。			
利用する工法	<input checked="" type="checkbox"/> 分散排水工	<input checked="" type="checkbox"/> 床止工	土留工	マルチング工
	路面処理工	<input checked="" type="checkbox"/> 段差処理工	植生基盤工	その他( )
作業予定日時又は期間	7月に3日間程度		参加予定人数	2~5人
			参加者内訳	参加者の一般公募 <input type="checkbox"/> 実施する <input checked="" type="checkbox"/> 実施しない
安全対策 (保険の適用、連絡網の整備等)	旭岳自然保護監視員は労災保険。ボランティアはボランティア保険に加入。			
主な資材とその調達(予定)	資材	数量	調達方法	
	石、礫、土	0.2m <sup>3</sup>	<input checked="" type="checkbox"/> 現地採取	搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)
			<input type="checkbox"/> 現地採取	搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)
			<input type="checkbox"/> 現地採取	搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)
			<input type="checkbox"/> 現地採取	搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)
道具の貸し出し希望 (自然保護官事務所・森林管理署)	物品	数量	希望先	貸出予定日時
位置図(地形図、国立公園の公園計画図、国有林又は道有林の施業計画図など)	登山道管理水準			
	保全対策ランク	A・B・ <input checked="" type="radio"/> C・D		
	現在のところ荒廃は激しくないが、植生を保全し、既に施工した施工物の効果を高めるものとなる。			
	利用体験ランク	<input checked="" type="radio"/> ① 2・3・4・5		
大きな段差や水溜まりへの対策を行い、歩行路を確保する。				
※事務局記入欄				
国立公園	保護規制計画:			
	利用施設計画:			
	事業執行者:	担当部署:		
土地所有	国有林・道有林・その他( )		担当部署:	
天然記念物	該当あり・該当なし		担当部署:	
備考				

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

地点Aで排出された水が再び散策路内に流入する。散策路内の流水対策として施工予定箇所周辺では2016年より石での床止めを行っている。しかし豪雨時には下流の地点Bの階段で水勢が強まり、土砂が路外に跳ね出され植生上に堆積することがある。植生の保全と散策路の新たな洗堀防止のため、分散排水工で水量を減らす。

施工方法(見取図、写真等)



見取図

写真① 分岐から

施工予定箇所

分岐



写真② 地点A

#### 分散排水工

分岐付近での散策路の洗堀を減少させるため、2017年に施工。

資材: 石、礫、土(現地採取)



備考

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法

**写真③ 地点B**

豪雨の際にこの地点で土砂が路外へ排出され、植生上に堆積することがある。  
写真は2016年(堆積した土砂は除去済み)

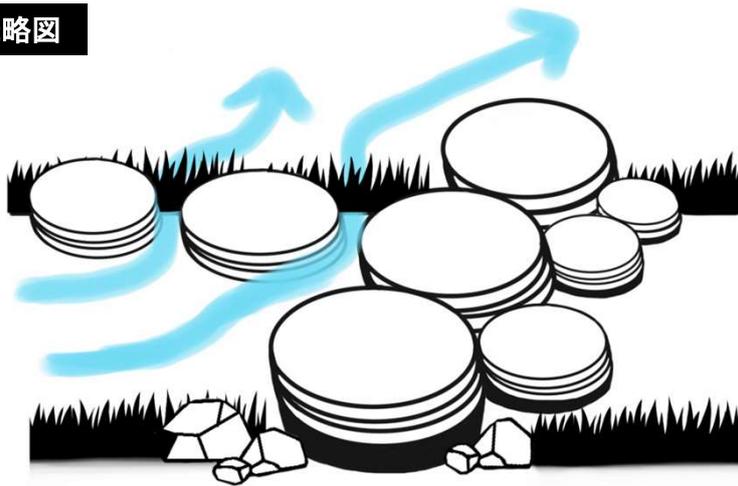
**写真④ 施工予定箇所**

**分散排水工**  
資材:石、礫、土

※施工物周辺の洗堀防止のため床止めを行う。また施工物の高さに応じ、段差処理を行う。

**施工概略図**

- ・分散排水工は写真②と同様に施工する。一部に高さをつけた床止めを行い、歩行路を確保する。
- ・排水先にはしっかりとした植物帯があり、傾斜も緩いため、洗堀などは起こりにくいと考える。
- ・土砂の流出には注意し、障害となる石を設置するなど対策をとる。



備考

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工方法



写真⑤ 土石採取予定箇所（涵沢）

備考

昨年度の施工状況と評価

・施工予定箇所周辺の床止工(2016~2018年施工)について



写真⑥ 床止工 施工前

2016年8月豪雨により洗堀



写真⑦ 床止工 施工後

下流に流された石・礫を用いた床止工

写真⑧ 床止工 施工1年後

その後施工済み箇所で大きな洗堀は起こっていないため、今回も施工物周辺に同様の床止めを施す。



備考